

信州の黒曜石と 旧石器時代のヒト・環境

広原湿原

Shinshu Obsidian and the Human-Environment Interactions in the Palaeolithic

日時：平成 25 年 6 月 8 日（土）13:00 ～ 15:00

場所：信州大学理学部 C 棟 2F 大会議室

※詳しくは下記の URL をご参照下さい。なお、自動車でお越しの方は市営駐車場をご利用下さい。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html#campus>

内容：長野県周辺の後期旧石器研究の最新成果について紹介する一般向けの講演です。

その他：参加費は無料です。また事前の申し込みは不要です。直接会場へお越し下さい。

<プログラム>

13:00~14:00 工藤雄一郎（国立歴史民俗博物館）

「後期旧石器時代における人類活動と古環境」

Kudo, Y. Human activities and their Environment in the Upper Palaeolithic

14:00~15:00 小野 昭（明治大学黒曜石研究センター）

「信州広原遺跡群の発掘調査と世界の黒曜石研究」

Ono, A. Archaeological excavations at Hiroppara site group in Shinshu and the world trend of obsidian studies



写真：広原遺跡における調査風景（左）、出土した黒曜石の石刃（中央）、広原湿原でのボーリング調査の様子（右）

問合せ先：公文富士夫（信州大学）

〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学理学部物質循環学科
TEL: 0263-37-2479 E-mail: shkumon@shinshu-u.ac.jp

主催：明治大学黒曜石研究センター

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 23 ～ 27 年）
「ヒト－資源環境系の歴史的変遷に基づく先史時代人類誌の構築」

共催：信州大学山岳科学総合研究所，長野県考古学会，信州大学理学部
日本第四紀学会気候変動研究委員会